



# EIZOとHPが描く医用画像診断の未来

## ～14年の“協業”が生んだ世界に誇るモニター～

### プロフェッショナルなものづくりと医療分野参入

EIZOはモニターの製造販売を主軸とする企業である。1968年に石川県七尾市で創業、1980年代に自社ブランドを確立し、製品・サポートに対する顧客の高い信頼を勝ち得てきた。

同社がヘルスケア業界、特に医療機関で使われるモニタ一分野に参入するきっかけとなったのは、2000年代初頭の医療業界におけるデジタル化の浸透だという。それまでは、X線、CT、MRIなどの画像はフィルムなどを用いて撮影し、現像したフィルムを光源（シャーカスティン）につけて診断していた。しかし、2000年代に入ると、DR（デジタルラジオグラフィ）など大規模なデジタル化の大変革があり、保険点数もついたことから一気にフィルムレス化が



「医療分野のデジタル化が医用モニター参入の契機となりました」と述べるEIZO企画部商品技術課の川本康詔氏

進展、モニターによる診断へと移行した。

EIZOは、以前から高品質なモニター製造技術を持っていたため、その技術をもって医療分野にも貢献したいという思いから、2002年に医用モニター「RadiForceシリーズ」の販売を開始、医療分野に本格的に参入した。

### 品質を支える両社のサポート体制と迅速な問題解決

EIZOは、製品の品質に加え、サポート体制を重視している点でも好評価を得ている。国内9か所のフィールドサポート拠点に加え、本社内にコールセンターと修理サービス拠点を配置し、万全の受け皿を整えている。市場から寄せられる製品への問い合わせや修理解析の情報は、同じく本社にある品質保証、開発、製造などの関連部門に迅速に共有されるため、的確な対応の立案・実施につながっている。このように、開発から生産、販売、サポートまでを自社で一貫して行う体制が、高品質な製品に加え、スピーディで信頼性の高いサポートの提供を可能にしている。

医用モニターについては経年変化に対するサポートも提供している。モニターは発光素子を含む工業製品であるため、時間の経過に伴う画質の変化は避けられない。そのため、モニター品質管理ガイドラインに基づいて定期的にモニターの測定を行い、正しく表示ができるかどうかを検証



EIZO株式会社  
〒924-8566 石川県白山市下柏野町153番地  
TEL:076-275-4121 WEB:<https://www.eizo.co.jp/>

設立:1968年3月6日

EIZO株式会社は、表示技術を中核に高品質な映像環境を提供するモニターメーカーである。「私たちはテクノロジーの可能性を追求し、映像を通じて豊かな未来社会を実現します」という理念のもと、医療分野では高精度・多階調表示と厳格な品質管理を追求した医用モニターを展開。画像診断や読影環境の質向上を支え、医療現場の信頼性と効率化に貢献している。

